

第39回らくのうマザーズ枝肉共励会

令和5年10月13日（金）に菊池市七城町の榎熊本畜産流通センターに於いて、第39回らくのうマザーズ枝肉共励会が開催されました。

今回、1部乳用種の部37頭、2部交雑種の部6頭、3部黒毛和種の部7頭の合計50頭が出品され、審査の結果、グランドチャンピオン賞に（株）有田牧場（ホワイト酪農協）の黒毛和種（IVF）・去勢（紀多福－美国桜－勝忠平）生体重1,040kg、枝肉重量671.7kg、BMS No.12、BCS No.3、ロース芯面積83cm²、ばらの厚さ10.0cm（等級A－5）が選ばれ、2度目のグランドチャンピオン受賞となりました。リザーブチャンピオン賞には2部の島田輝昭氏（熊本酪農協）の交雑種・去勢（美津金幸）生体重871kg、枝肉重量

558.3kg、BMS No.8、BCS No.3、ロース芯面積60cm²、ばらの厚さ7.4cm（等級B－5）が初受賞でリザーブチャンピオン賞となりました。

当日は快晴に恵まれ、枝肉展示が行われている冷蔵庫内では多くの出品者や関係者の方が熱心に見学されていました。

（株）有田牧場さんより心のこもった挨拶の後、セリ人による威勢の良い掛け声とともにセリが開始され、会場からは歓声が上がるなど活発にセリは進行していきました。最後にグランドチャンピオン賞の枝肉が競られ、盛大な拍手とともに無事閉幕しました。なお、グランドチャンピオン賞は3,670円/kg、リザーブチャンピオン賞は2,380円/kgで落札されました。



有田氏



グランドチャンピオン枝肉



受賞者と購買者



表彰式

枝肉共励会入賞者一覧

(順不同)

出品番号	出品組合名	出品者	褒賞
1部			
2	菊池地域農協(菊池)	益崎 洋光	銀
12	火の国酪農協	土井 信二	銀
19	鹿本農協	伊豆永芳弘	銀
22	菊池地域農協(泗水)	内田 恵助	銀
27	鹿本酪農協	(株)T-farm	金
28	熊本酪農協	野口 孝昭	銀
37	ホワイト酪農協	東 吉次郎	銀
2部			
40	火の国酪農協	(有)生山牧場	金
41	菊池地域農協(大津)	(有)相馬牧場	金
43	熊本酪農協	島田 輝昭	R C
3部			
44	菊池地域農協(菊池)	益崎 洋光	金
45	菊池地域農協(泗水)	金子 紀之	銀
47	熊本酪農協	新永 文治	金
49	ホワイト酪農協	(株)有田牧場	G C



リザーブチャンピオン枝肉



セリ風景

枝肉共励会出品データ(平均値)

	生 後 月 齢 (ヶ月)	生 体 重 (kg)	枝 肉 歩 留 (%)	枝 肉 重 量 (kg)	ロ ー ス 芯 (cm ²)	ば ら 厚 さ (cm)	皮 下 厚 さ (cm)	B M S No.	B C S No.	B F S No.	単 価 (円)
1部経産牛平均	68.4	822.5	53.6	442.1	39.5	4.7	1.7	2.2	5.2	4.2	1,115
1部若齢牛平均	25.5	756.0	59.0	446.0	44.8	4.6	2.5	2.0	4.5	3.3	1,050
1部全体平均	63.8	815.4	54.2	442.5	40.0	4.7	1.8	2.2	5.2	4.1	1,108
2部平均	24.2	814.0	63.1	514.1	55.7	7.1	2.8	4.7	3.7	3.0	1,775
3部平均	29.9	875.9	64.9	568.6	72.9	8.4	3.0	10.1	3.4	3.3	2,377
全体平均	54.3	823.7	56.8	468.7	46.5	5.5	2.1	3.6	4.7	3.8	1,366

第2回熊本県酪農女性レクリエーション大会を開催！

主催：熊本県酪農女性部協議会、らくのうマザーズ

日時：令和5年10月5日

場所：益城町総合体育館メインアリーナ

第2回熊本県酪農女性レクリエーション大会が上記の日程で開催され種目については前年に引き続き「ボッチャ」での開催となりました。県内各地から40チーム122名の酪農家が集い、老若男女問わず大いに楽しんでいただきました。「ボッチャ」は一見、ただ「ボールを狙った場所に投げるだけ」の様にコントロールのみが求められる競技だと思いがちですが、実際はゲームを優位に進めるため、カーリングのように的を守ったり、自チームのボールや相手のボールをぶつけて動かし、はじいたりして1投ごとに大きく局面が変化し、各コート白熱した熱戦が繰り広げられました。毎回綿密に作戦を立てながら試合に臨むチー

ムもあり、戦略がカギを握っていた大会ではなかったでしょう。

参加者の視線を一身に受け、緊迫した決勝戦を見事制し、40チームの頂点となったのは【チームタフママ（JA熊本市）】でした。なお、その他の結果は下記の通りとなっております。

今年度は、女性部協議会主催のスポーツ大会となり、幅広い年代の女性酪農家に参加いただき、非常にうれしく思います。昨年度より試合数も増え、満足していただけたのではないのでしょうか。参加された選手の皆様、大変おつかれさまでした。

試合結果

順位	チーム名（組合名）
優勝	チームタフママ（JA熊本市）
準優勝	菊池（熊本酪農協）
3位	泗水A（JA菊池泗水中央支所）

順位	チーム名（組合名）
コンソレーション優勝	D I Y（熊本酪農協）
コンソレーション準優勝	七城A（JA菊池七城中央支所）



富田会長



中村委員長



小池常務



絶対勝つぞ！



熊本弁ラジオ体操で
ウォーミングアップ！



ハイタッチ



やったー



真ん中にいけー！



どっちが近いかな？



COLUMN—コラム—

「酪農のDX（ディーエックス）について」

今年は、猛暑が続いたせいか例年になく急に冷え込む秋となりました、皆様はお健やかにお過ごしでしょうか？

私はこのコラムへの寄稿は2回目になります。近頃は、チャットGPT（高度なAI技術で人間のように自然の会話ができるAIサービス）なるもので、素晴らしい文章が簡単に出来る時代になりましたが、今回も頑張って自力で書かせていただきます。

そんな高度情報化時代の中で、らくのうマザーズでは、今年度より「電算課」から「情報システム課」に部署名を変更しました。理由は、インターネット普及や業務のデジタル化が一気に加速し、拡大する業務範囲や重要性への取り組みを強化するためです。

今は猫も杓子も、「デジタル化」・「IT化」・「AI」・「DX」などの言葉が日常使われていますが、分かっているつもりでも説明となると不安ですのでググってみると、還暦過ぎの私レベルで短く書くとうなりました。「デジタル化」→手書きなどのアナログデータをデジタルデータに変換すること。

「IT化」→インターネット通信やコンピューターのデジタル技術を用いて効率化や生産性の向上を図ること。

「AI」→人工知能の略で、コンピューターが人間のようにデータを分析し、判断や解決や提案などを行うこと。

「DX」→Digital Transformationの略で、デジタル技術によって人々の生活をより良い方向へ変えていくこと。

これらを無理くり文章にすると、「アナログからデジタル化を図り、AIなどの技術を導入してIT化を進め、競争力を高めるためのDXを推進する。」という感じでしょうか。

前置きが長くなりましたが、農業分野のDXは、農水省を中心に「スマート農業」として多くの取り組みが進められています。目的とするところは生産性の向上と持続可能な経営であり、今後は収集したデータを共有し利活用が進んでいくものと思われます。

その中でも、酪農・畜産は、高齢化等による生産者の減少の中で、規模拡大が加速し、同時にデジタル化や自

動化が進んでいる分野と言われており、組織的な牧場管理やIT技術を活用した経営が求められ、DXへの取り組みが重要視されています。

具体的には、労働者不足における作業の省力化及び技術の継承、飼料価格や経費の上昇に対する合理化と生産性の向上、消費者ニーズに対応した生産など酪農DXを推進することで酪農経営をより良いものへと変革できると期待されています。そして、牛群管理データやゲノム解析データに基づく疾病予防や繁殖成績の向上、また搾乳ロボットによる労働軽減や連動データの活用など、様々な分野でさらに進化していくものと思われます。

話は変わりますが、将棋界でもAIが導入されています。今年の藤井八冠が誕生した王座戦の第4局の終盤で、AIが出した形勢で1：99からの大逆転勝利でした。相手がAIだったら逆転はなかったはずですが、将棋は人間がやるからこそ面白いのだと思います。

よく、自動化が進み人の職業は無くなるのではないかと言われていますが、私は自然や動物を相手とする酪農という職業は永遠に続くと思います。AIには、まだ不測の事態への対応や創造・工夫などは不十分だと言われており、偽情報等の見極めをするのも人間であり、結局、どんな技術も「使う人」と「使い方」が重要になるからです。

酪農家の皆様も、将来を見据え、今のうちに頭の中にあるノウハウをデータ化し、知識と技術を高めながら、今後ツールや情報を活用し、酪農を継続していくためのDXに、らくのうマザーズと共に推進していただくことをお願いいたします。

最後に、8月には飲用乳価格が1㍑当たり10円の再値上げが行われたものの、飼料価格等は高止まりし生産者の皆様には依然として厳しい経営環境が続いていますが、現状は明るい未来に向かってっていると確信しております。私たちらくのうマザーズも全力で取り組んで参ります。



らくのうマザーズ管理本部長
桐原 睦実